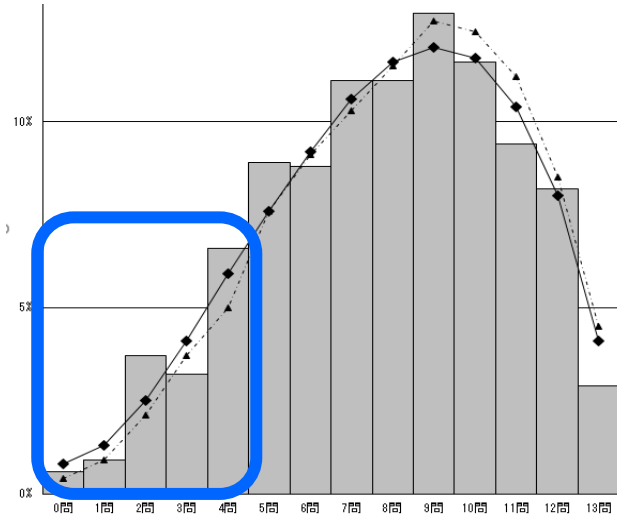


1 調査結果の分析 全国との差が-3P以上の項目から、上位2項目を抽出

	問題 番号	正答率（％）			県と の差	全国と の差	問題の概要	出題の趣旨
		中津市	大分県	全国				
全体		60	63	60.9	-3	-0.9		
課題①	2ー	51.3	54.9	57.9	-3.6	-6.6	花山さんの文章の工夫を説明したものとして適切なものを選択する。	筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる。
課題②	1二(2)	57.9	63.3	63.2	-5.4	-5.3	【動画の一部】の太線囲みの部分の工夫として適切なものを選択する。	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。

正答数分布グラフ



平均正答率30%未満の割合

正答数	割合(%)		
	中津市	大分県	全国
0～4問	15.0	12.1	14.6

2 授業改善に向けて（主に課題①と対応）

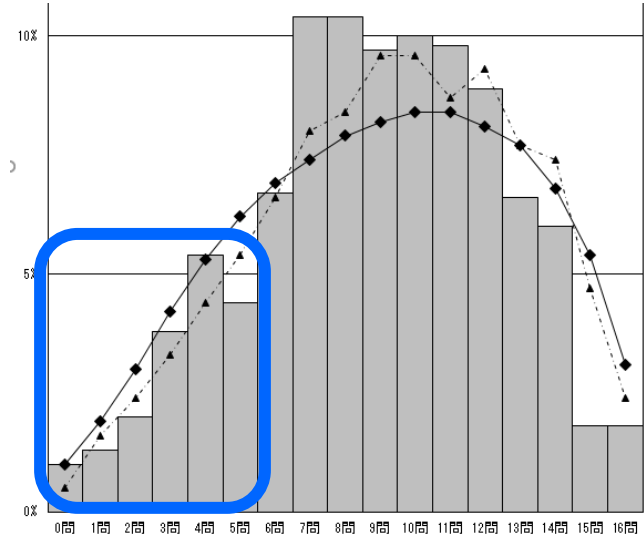
筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える際の指導

- 文章全体の構成や配列を意識して文章全体の筋道を整える。
→「考えと理由や事例」「原因と結果」「疑問と解決」など
- 論の進め方が異なる複数の文章を読み比べ、それぞれの効果について整理する。
→「考えを最初に取り、考えを支える理由や事例をその後に並列で書いているもの」「疑問を投げかけて、その疑問を解決していくように述べるもの」など

1 調査結果の分析 全国との差が-3P以上の項目から、上位2項目を抽出

	問題 番号	正答率（％）			県と の差	全国と の差	問題の概要	出題の趣旨
		中津市	大分県	全国				
全体		55	58	56.4	-3	-1.4		
課題①	2(4)	25.6	29.3	34.2	-3.7	-8.6	赤いテープの長さが、白いテープの長さの1.5倍になっている図を二つ選ぶ。	基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみる。
課題②	1(3)	33.5	38.0	40.1	-4.5	-6.6	1立方センチメートルの立方体を36個使ってできた直方体の体積を書く。	体積の意味について理解しているかどうかをみる。

正答数分布グラフ



平均正答率 30%未満の割合

正答数	割合(%)		
	中津市	大分県	全国
0～5問	17.9	17.6	21.6

平均正答率30%未満の児童の割合は、全国と比べると少ない。

2 授業改善に向けて（主に課題①と対応）

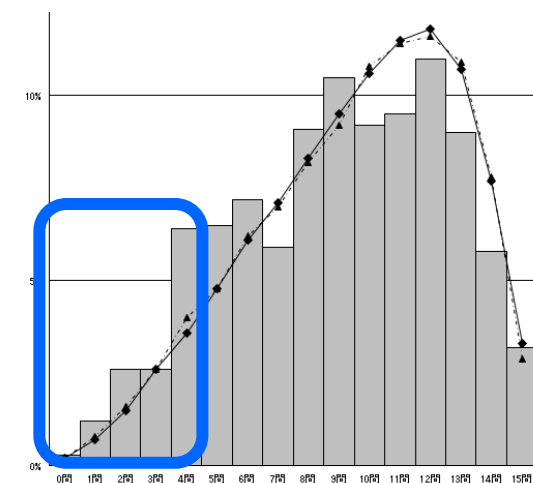
基準量、比較量、割合の関係を捉えるための指導

- 基準量に対して、比較量がどれだけに当たるかを、図を通して考える。
- 基準量とその2倍や3倍に当たる量を比較することを通して、基準量の1倍や1.5倍、2.5倍の意味を理解できるようにする。
- 基準量の1.5倍に当たる量は、基準量を1と見たときに1.5に当たる量であることを捉え、割合についての理解を深める。

1 調査結果の分析 全国との差が-3P以上の項目の中から、上位3項目を抽出

	問題番号	正答率（％）			県との差	全国との差	問題の概要	出題の趣旨
		中津市	大分県	全国				
全体		60	64	63.9	-4	-3.9		
課題①	1二	63.0	66.1	70.2	-3.1	-7.2	「投げられる」を説明したものとして適切なものを選択する。	単語の類別について理解しているかどうかをみる。
課題②	1一	77.6	82.3	84.3	-4.7	-6.7	「可能の意味」を含んでいるものとして適切なものを選択する。	助動詞の働きについて理解しているかどうかをみる。
課題③	4二	28.6	33.0	35.2	-4.4	-6.6	国語辞典を参考にして、「ほうふつとさせる」と同じような内容を表す別の表現を文章中から抜き出す。	語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることができるかどうかをみる。

正答数分布グラフ



平均正答率30%未満の割合

正答数	割合(%)		
	中津市	大分県	全国
0～4問	13.1	9.2	8.6

2 授業改善に向けて（主に課題①②③と対応）

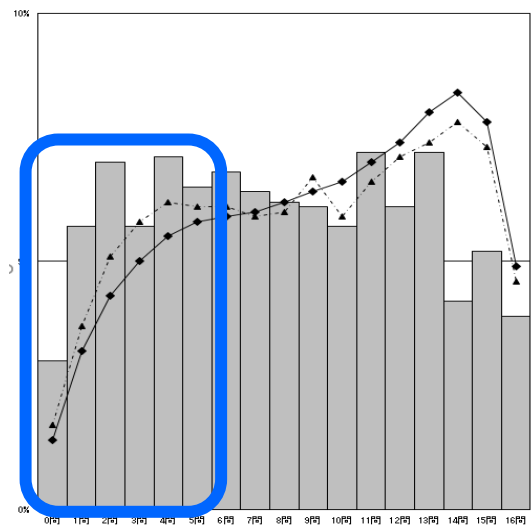
語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えるための指導

- 語句の文脈上の意味を正確に捉えるために、辞書を活用して語句の意味や使い方に対する認識を深める。
- 一部の意味だけを見るのではなく、その言葉の全体を捉える。（類義語・対義語）
- 文章の中でその語句がどのように使われているかを確認する。（用法・例文）

1 調査結果の分析 全国との差が-3 P以上の項目の中から、上位3項目を抽出

	問題 番号	正答率（％）			県と の差	全国と の差	問題の概要	出題の趣旨
		中津市	大分県	全国				
全体		49	55	57.0	-6	-8.0		
課題①	8(2)	27.2	37.9	46.1	-10.7	-18.9	図1において、 $AB=AP$ 、 $OB=OP$ ならば $\angle AOB=\angle AOP$ であることを、三角形の合同を基に証明する。	筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる。
課題②	3	33.6	41.6	49.1	-8.0	-15.5	四角形PQRSにおいて、PS平行QRを示すための根拠となる二つの角を書く。	2直線が平行になるための条件を理解しているかどうかをみる。
課題③	2	60.0	64.7	70.5	-4.7	-10.5	$7x+9-5x+7x^2+2x$ から、 $7x$ の同類項をすべて書く。	同類項の意味を理解しているかどうかをみる。

正答数分布グラフ



平均正答率30%未満の割合

正答数	割合(%)		
	中津市	大分県	全国
0～5問	35.0	28.6	25.2

2 授業改善に向けて（主に課題①と対応）

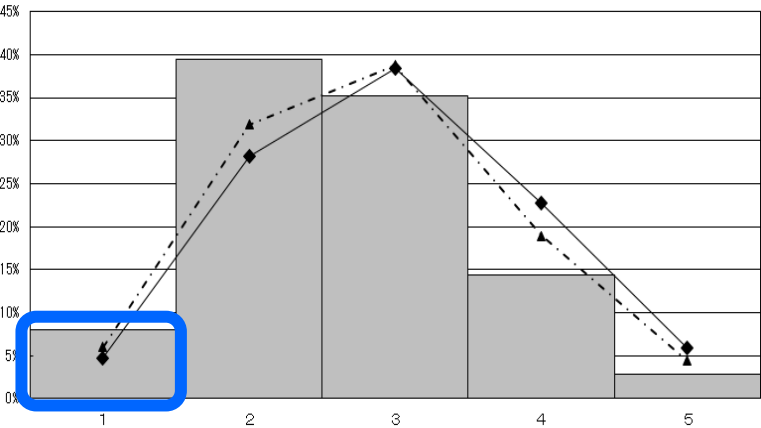
事柄が成り立つことについて、方針を立て、証明することができるようにするための指導

- 証明すればよいことを確認した上で、必要に応じて「 $\angle AOB=\angle AOP$ を示すためには $\triangle AOB=\triangle AOP$ をいえばよい」といった見通しをもつ場面を設定する。
- 証明を書き終えた後に、その証明を振り返る活動を取り入れる。
→筋道立てて説明ができているか、根拠は明確か、記号や用語の使い方は適切か など

1 調査結果の分析 全国との差が-3P以上の項目の中から、上位3項目を抽出

英	問題 番号	正答率（％）			県と の差	全国と の差	問題の概要	出題の趣旨
		中津市	大分県	全国				
課題①	12	29.0	44.4	47.5	-15.4	-18.5	中学生になってからの思い出を1つ取り上げ、そこで体験したことと感想を書く。	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる。
課題②	11①	45.8	53.7	58.9	-7.9	-13.1	与えられた情報に基づいて、留学生の昨日の出来事を説明する英文を書く。	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる。
課題③	1	47.7	56.8	60.2	-9.1	-12.5	注文の場面での店員と客の会話を聞き、客が注文したものを選択する。	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる。

正答数分布グラフ



IRTバンド1の割合

IRTバンド	割合(%)		
	中津市	大分県	全国
1	8.0	6.0	4.7

IRTバンド1の生徒の割合は、全国と比べると多い。

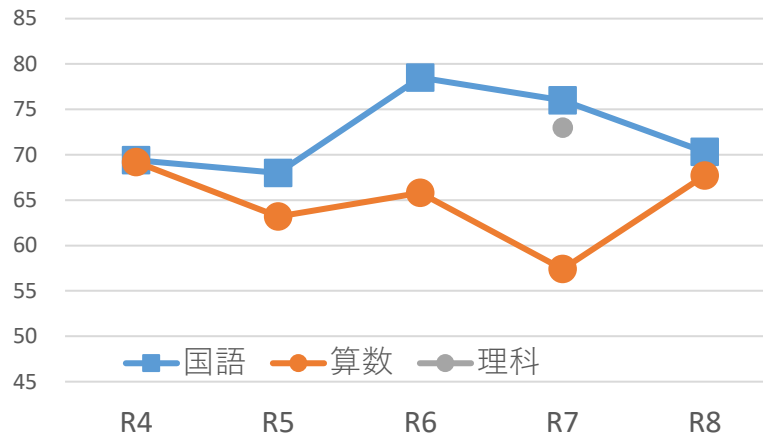
2 授業改善に向けて（主に課題①②と対応）

事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くための指導

- 書く前に話題に関連する内容をキーワードでメモに整理させる。
- 全体として一貫性のある文章を書くために、“because” “and” “so” “but” などの接続詞を用いて複文や重文にしたり、“he” “she” “it” “they” などの代名詞を用いて文と文のつながりを意識させたりして、3文程度の短い文章を書くことを繰り返し取り組む。

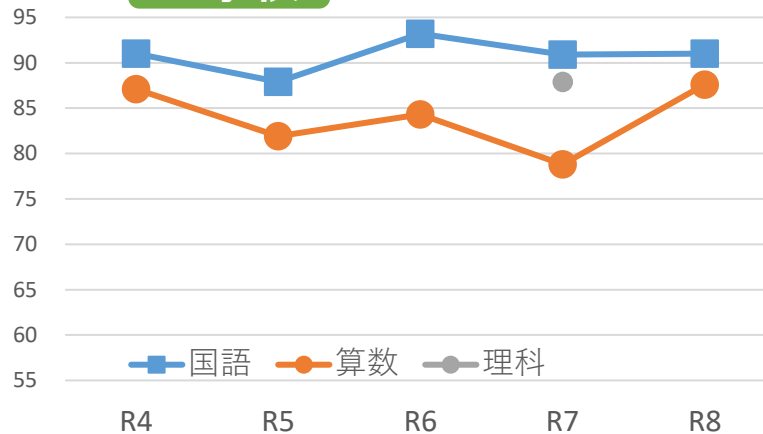
教科の勉強は好きですか。
(肯定的回答割合)

小学校

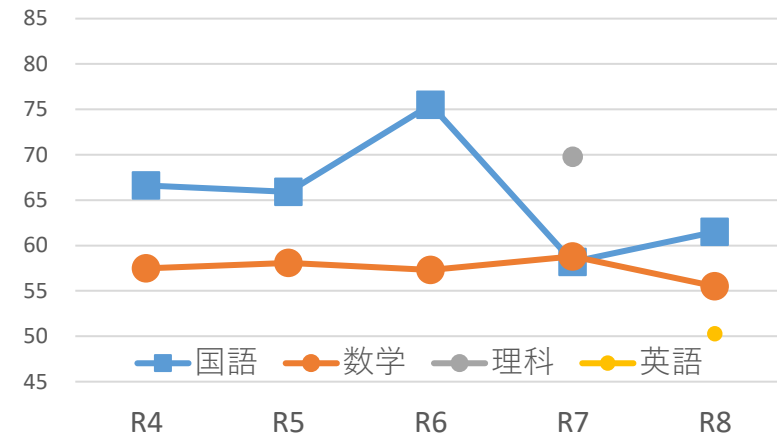


授業の内容はよくわかりますか。
(肯定的回答割合)

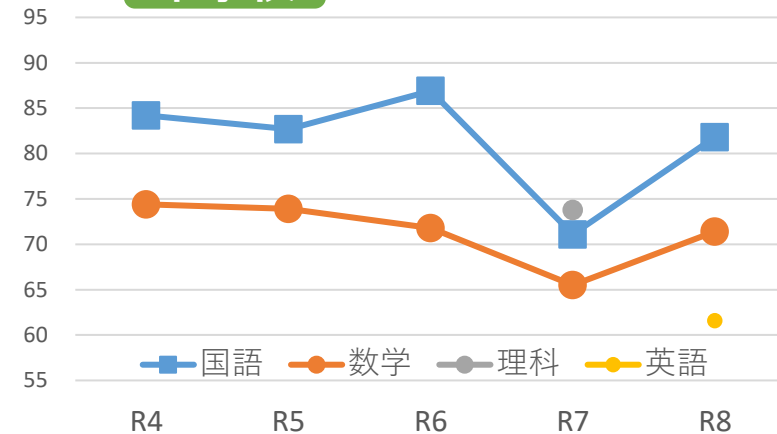
小学校



中学校



中学校



- 「教科の勉強は好きですか」の質問についての肯定的回答割合は、R7からR8にかけて、小学校の算数、中学校の国語において増加した。
- 「授業の内容はよくわかりますか」の質問についての肯定的回答割合は、R7からR8にかけて、全ての項目において増加した。

R 8 全国学調 質問紙調査結果から見える児童生徒の現状

小学校

中学校

() は昨年度比

①将来の夢や目標を持っていますか。(肯定的割合)

全国	県	中津市	全国との差	県との差
81.8	81.4	84.3(+4.1)	+2.5	+2.9

全国	県	中津市	全国との差	県との差
67.6	67.6	66.0(+0.4)	-1.6	-1.6

②自分には、よいところがあると思いますか。(肯定的割合)

全国	県	中津市	全国との差	県との差
85.6	85.5	86.5(+2.6)	+0.9	+1.0

全国	県	中津市	全国との差	県との差
84.0	83.6	78.2(-5.7)	-5.8	-5.4

③学校に行くのは楽しいと思いますか。(肯定的割合)

全国	県	中津市	全国との差	県との差
85.7	85.5	85.5(+0.7)	-0.2	0.0

全国	県	中津市	全国との差	県との差
85.4	87.2	85.4(-2.6)	0.0	-1.8

④学校の授業以外に、普段(月から金)1日当たりどれくらい勉強したか。(塾、家庭教師、ネット活用学習を含む)。**【30分未満】**

全国	県	中津市	全国との差	県との差
20.2	14.8	17.5(-7.0)	-2.7	+2.7

全国	県	中津市	全国との差	県との差
18.4	8.9	15.6(-1.2)	-2.8	+6.7

⑤土日など学校が休みの日に1日当たりどれくらい勉強したか。(塾、家庭教師、ネット活用学習を含む)。**【1時間未満】**

全国	県	中津市	全国との差	県との差
48.7	47.3	59.2(-3.2)	+10.5	+11.9

全国	県	中津市	全国との差	県との差
34.8	20.4	31.0(-5.7)	-3.8	+10.6

- ・ ①「夢や目標」 ②「自分によいところがある」の項目で、小学校では肯定的な回答の割合が全国・県と比べて高く、中学校では低い。
- ・ ③「学校に行くのは楽しい」の項目で、小学校では肯定的な回答の割合が全国と比べてやや低い。
- ・ ④「平日の学習時間」の項目では、「30分未満」と回答した割合が、小・中学校ともに全国と比べて低い。
- ・ ⑤「週末の学習時間」の項目では、「1時間未満」と回答した割合が、小学校は全国・県と比べて高く、中学校は全国と比べて低い。

学校質問調査から見える授業及び児童生徒の現状

小学校

全国との差が±3P以上の項目の中から、差が大きい2項目を抽出

	番号	質問事項	中津市	大分県	全国	県との差	全国との差
成果	36	各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	100.0	94.6	87.0	+5.4	+13.0
	33	児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	100.0	90.8	89.5	+9.2	+10.5
課題	67	児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか【毎日持ち帰る】	26.3	21.3	43.2	+5.0	-16.9
	31	児童一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか	84.2	91.7	91.2	-7.5	-7.0

中学校

全国との差が±3Pの項目の中から、差が大きい2項目を抽出

	番号	質問事項	中津市	大分県	全国	県との差	全国との差
成果	31	生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか	100.0	89.9	87.5	+10.1	+12.5
	35	関連する既習事項を振り返り、知識を総合的に関連付ける学習活動を行いましたか	100.0	98.0	90.6	+5.0	+9.4
課題	75	生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか【毎日持ち帰る】	20.0	40.3	53.2	-20.3	-33.2
	30	生徒は、授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っていると思いますか	30.0	51.3	56.7	-21.3	-26.7

今後の取り組み

1. 徹底した補充学習や家庭学習を組織的・計画的に行う

- Qubenaやeライブラリ、みんなの学習クラブを家庭学習や補充学習でも積極的に活用し、個別最適な学びで学力定着を図る。
- その日の学習内容、少し前の学習内容、かなり前の学習内容それぞれの復習に計画的に取り組み、「短期・中期・長期」を意識して学力定着を図る。
- 学力向上の取り組みを計画的・継続的に行えるよう「4点セット」や「学力向上プラン」に位置づける。

2. 習熟の程度に応じた指導の充実を図る

- その日の授業や単元において、児童生徒が何ができるようになることが目標なのかを明確にして授業を行う。
- 全ての児童生徒が目標を達成できるよう、適切なタイミングで児童生徒の学習状況を形成的評価で見取る。
- 児童生徒のつまずきの状況に応じて手立てを講じるとともに、必要に応じて補充学習や家庭学習につなげる。

3. 授業を見て学ぶ

- 「授業力向上アドバイザー事業（校内研修推進型）」の配置校である城北中学校が、組織的な授業改善を進め、10月14日に公開授業を行う。また、小楠小・真坂小・山口小・中津中・今津中において中津市授業研修会（実践研修）を実施する。様々な機会積極的に授業を見て学び、授業改善につなげる。

年度が変わっても、教職員が替わっても、子どもが替わっても、必ず取り組み、常にどの学年・教科でも「偏差値50以上」の力を。